

オーブンプラン6年生 算数

「拡大図と縮図」

～色々なところからかき始める～

6年生では
同じ形のまま大きく（小さく）する
図形について調べていきます。

「ノートに三角形を一つかいてごらん。」

早速かき始める子どもたち。

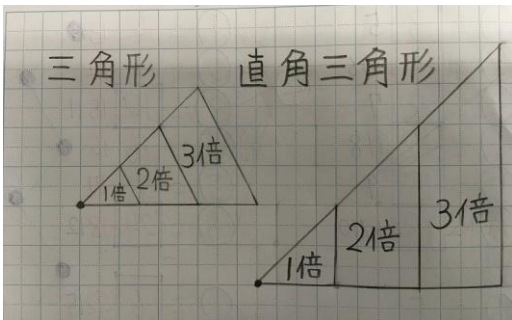


「では、今かいた三角形の
2倍の拡大図はかけるかな？」

できる！
前もやったじゃん！
と子どもたち。

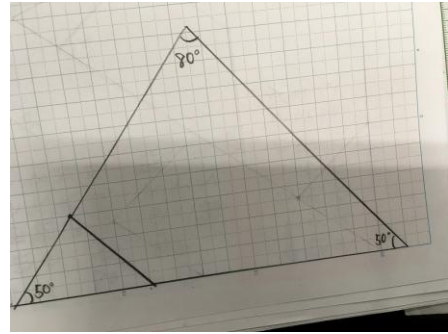
「ただし今回はルールを一つ決めます。」

「ここ！という点を決めて、
作図は毎回その点から出発します。」



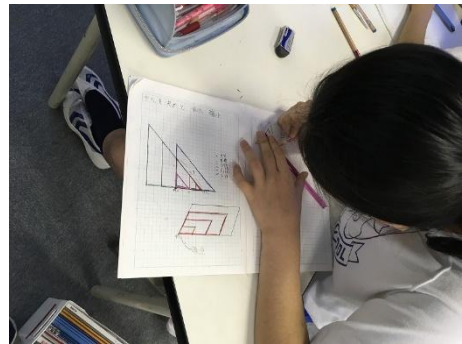
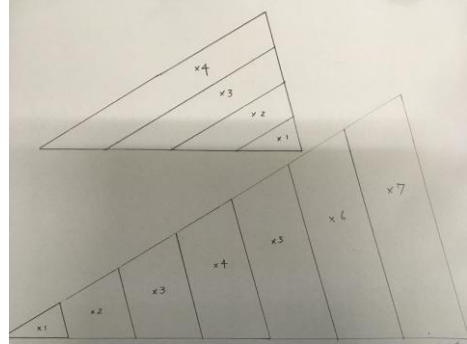
こういうこと？

ああ！それなら簡単。

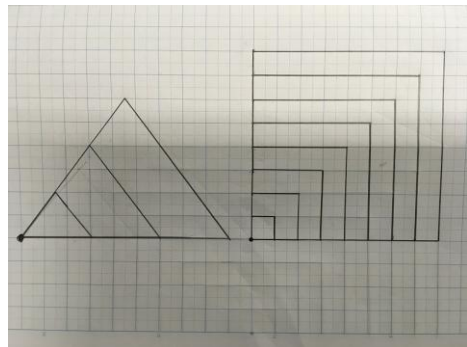


これは3倍！

どんどん大きくしていく子どもたち。



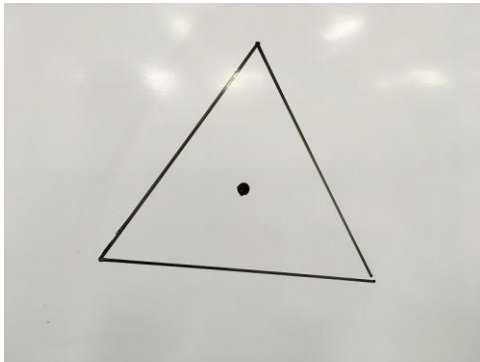
先生、四角形でもできるよ！



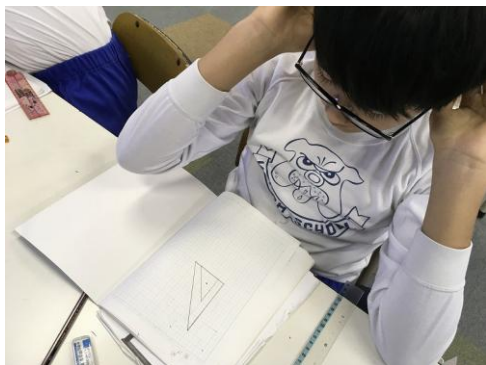
子どもたちは、自分で
さらなる工夫を重ねていきます。

ここで、もうひとひねり。

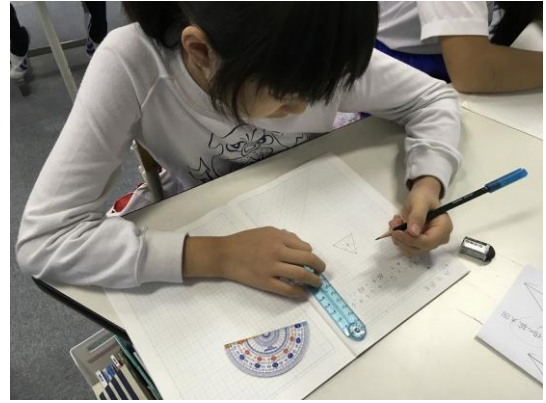
「今度は、始める点を
こんな風にしてもできるのかな？」



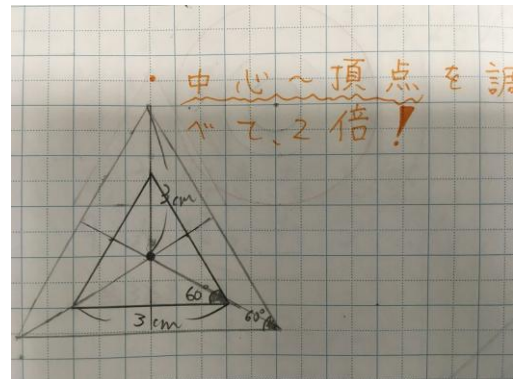
ん？
と悩む子どもたち。



ん〜…なんか違うんだよな…



できた！
え？どうやってやったの？

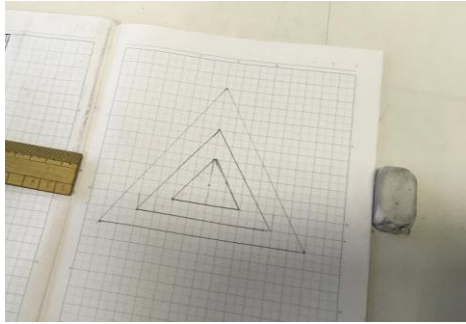


点から頂点までの長さを測って
2倍すればいいんだよ。

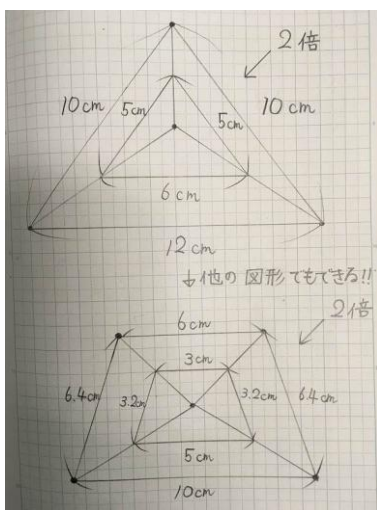
ああ〜！そういうことか！

しばらく止まりかけていた
子どもたちの手が、再び動き出しました。





これも、四角形もできるんじゃない？
コンパス使ったら楽だよ！



6年生ともなれば、
簡単には解決できない問題も出てきます。

1人の「できた！」「わかった！」
からみんなに工夫が広がり

その先で新たな壁にぶつかる。

またそこで誰かの
「できた！」「わかった！」
が生まれる。

そうやって、子どもたちが集団で前向きに
学習に取り組んでいけることを
日々願っています。